

高山理科
小数理科

課題研究の結果発表

校外の連携講座で学ぶ

【小山】小山高数理科学科の課題研究発表会が9日、同校で開かれ、2年生

同科は県内唯一の理数科系専門学科。科学的思考力を高めようと、宇都宮大と連携した「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」などの講座に生徒が参



小山高数理科学科の課題研究発表会

加し、学んだことを課題研究としてまとめている。発表会には同科の1、2年生約80人や教職員らが参加。研究テーマは肌の構造や熱気球の製作、水銀、火星宿プログラム「サイエンスキャンプ」に参加した野田泰登君(17)は、医療などへの応用が期待されるナノサイエンスについて発表。「普段見られない施設、機器を知ることができ、よい経験になった。将来は研究者を目指したい」と話した。(柴田大輔)

探査プロジェクトなどさまざまなで、生徒らは研究の動機や考察などをパワーポイントを使って紹介した。先進的科学技术体験合宿プログラム「サイエンス